

私たちは、技能に優れた鉄筋工事企業集団として、社会に貢献します。



POWER

Vol.
75

季刊誌パワー 発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔令和5年12月20日発行〕

WINTER 2023

適正価格で職人に還元を

全鉄筋 鹿児島で秋季定例会

持続可能な業界へけん引



全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、岩田正吾会長）は17日、2023年度秋季定例会（雇用改善推進会議）を鹿児島市の城山ホテルで開催した。全国の団体幹部ら計約140人が出席するとともに、ウェブでの参加団体もあった。経営や技術、教育訓練、外国人受け入れ事業、広報、労務、建設キャリアアップシステム（CCUS）企業評価事業の各委員会の委員長が限りの課題や活動状況などを報告し、さらには現段階で型枠と鉄筋が先行して標準労務費の検討がされていることに触れ「鉄筋業であれば1トンの標準的な金額が示される。この標準労務費を基に元請企業からお金をもらって、われわれ鉄筋業はとにか（職人）に払う。抜かすに払う。これをまずお願いしたい。鉄筋業が業界を引っ張っていきたい」と意気込みを語った。各委員会活動では「レベル別最低賃金を担保する標準賃金制度の検討」「技能実習生・特定技能外国人材の受け入れ状況」「登録基礎技術者講習の日程」「V会員専用の全鉄筋ポータルサイト」「技術支援システムのためのマッチング支援システム」の活用状況（CCUS）に関する調査（など）など報告された。第2部では国土交通省・建設経済局の岩下泰善建設業課長が「建設業行政をめぐる最近の話題」をテーマに講演した。

日刊建設工業新聞2023年11月20日



・広報委員長
・労務委員長

専務理事 小寺洋志裕
常任理事 岑 直樹
常任理事 飛田 良樹

・経営委員長
・技術委員長
・教育訓練委員長
・外国人受入事業委員長

副会長 宮村 博良
副会長 新妻 尚祐
副会長 飯島 勉

（1）各事業委員会報告
並びに国土交通大臣表彰受賞者のご紹介

一、叙勲受章者、

特別補佐 中山 泰秀様

自由民主党政務調査会長

公明党副代表 斉藤 鉄夫様

国土交通大臣 衆議院議員

一、来賓祝辞・挨拶

会長 岩田 正吾

一、全鉄筋会長挨拶

副会長 新妻 尚祐

一、開会の辞

A. 定例会報告

・CCUS企業評価事業委員長

（2）就労人口調査報告

代表幹事 眞部 達也

・青年部

代表幹事 眞部 達也

（2）就労人口調査報告

就労調査WG 佐々木善弘

（石川県鉄筋業協同組合報告）

理事長 小寺洋志裕

（3）各地区における受注単価・労務状況等報告

事務局

（4）第一生命保険株式会社

法人渉外担当部長 坊野 朝陽様

（5）AIG損害保険株式会社

CCA東京支店支店長 尾崎 満留様

B. 講演

「建設業行政をめぐる最近の話題」

国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課

一、閉会の辞

課長 岩下 泰善様
副会長 飯島 勉

令和五年度秋季定例会（雇用改善推進会議）

令和五年十一月十七日（金）
城山ホテル 鹿児島

◆国土交通省講演資料抜粋

賃上げに関する岸田内閣総理大臣の発言

国土交通省

岸田内閣総理大臣年頭記者会見（令和5年1月4日）（抄）

今年の春闘について、連合は5パーセント程度の賃上げを求めています。是非、インフレ率を超える賃上げの実現をお願いしたいと思います。政府としても、最低賃金の引上げ、公的セクターで働く労働者や政府調達に参加する企業の労働者の賃金について、インフレ率を超える賃上げが確保されることを目指します。

第7回 物価・賃金・生活総合対策本部（令和5年2月24日）（抄）

また、斉藤国土交通大臣におかれては、本日、報告のあった、公共工事設計労務単価5.2パーセントの引上げが、現場に着実に届けられ、公共事業に参画する企業で働く方々の賃上げにしっかりとつながるよう万全の対応を進めてください。



岸田内閣総理大臣記者会見（令和5年9月13日）（抄）

新しい資本主義に向けた取組を加速し、物価上昇率プラス数パーセントの賃上げを継続的に実現するための政策...を進め、デフレからの脱却を確実なものとしてまいります。

第二百十二回国会における岸田内閣総理大臣所信表明演説（令和5年10月23日）（抄）

三十年来続いてきたコストカット経済からの...変化の流れを掴み取るために、持続的に構造的な賃上げを実現...させていく。「経済、経済、経済」、私は、何よりも経済に重点を置いていきます。
成長と分配が持続的に回っていく、物価上昇を十分に超える持続的賃上げが行われる経済を目指していきます。



31

中央建設業審議会・社会資本整備審議会基本問題小委員会中間とりまとめ（概要） ～担い手確保の取組を加速し、持続可能な建設業を目指して～ 令和5年9月19日決定

- ✓ 建設業が持続的に発展していくには、新規入職を促進し、将来の担い手の確保・育成を図っていくことが不可欠。
- ✓ 同時に、現下の課題である資材価格高騰や時間外労働規制に適切に対応しつつ、適正な請負代金・工期が確保された請負契約の下で、適切に建設工事が実施される環境づくりも欠かせない。
- ✓ こうした問題意識の下、①請負契約の透明化による適切なリスク分担、②適切な労務費等の確保や賃金行き渡りの担保、③魅力ある就労環境を実現する働き方改革と生産性の向上、などの分野について、建設業法等の改正も視野に早急に講ずべき施策を取りまとめ。

1. 請負契約の透明化による適切なリスク分担

- （1）契約における非対称性の解消
①受注者によるリスク情報提供の義務化
・見積り時等に、建設工事に関するリスク情報の受注者から注文者への提供を義務化
②請負契約に予備的経費等に関する事項を明記
③オープンブック・コストプラス方式の標準請負契約約款の制定

（2）価格変動等への対応の契約上での明確化

- ①請負代金の変更について規定された民間工事標準約款の利用促進
②価格変動に伴う請負代金の変更事項を契約書に明記
・法定記載事項として「価格変動等が生じた場合に請負代金額等をどのように変更するかについて」の定めを明記

（3）当事者間のコミュニケーションと請負契約の適正化

- ①当事者間での誠実協議
・請負代金や工期に影響を及ぼす事象が生じた場合に契約の当事者間で誠実に協議を実施
②民間事業者への勧告等
・不当に低い請負代金での契約締結について、国土交通大臣等の勧告対象に、公共発注者だけでなく民間事業者も含める
・不適切な契約締結のため許可行政庁の組織体制を整備

※今後、重層下請構造の実態を踏まえた建設業許可の合理化、緊要に応じた労働力の需給調整や多能工の評価のあり方、建設業の許可を要しない小規模工事の適切な管理についても検討。

2. 適切な労務費等の確保や賃金行き渡りの担保

- （1）標準労務費の勧告
・適切な工事実施のために計上されるべき標準的な労務費を中央建設業審議会が勧告
（2）受注者における不当に低い請負代金の禁止
・労務費を原資とする販売行為の制限のため、受注者による不当に低い請負代金での契約締結を禁止し、指導、勧告等の対象とする
（3）適切な水準の賃金等の支払い確保のための措置
・建設業者に、労働者の適切な処遇確保に努めるよう求める
・標準約款に賃金支払いのコミットメントや賃金開示への同意に関する事項を追加

3. 魅力ある就労環境を実現する働き方改革と生産性向上

- （1）適正な工期の確保
①受注者による著しく短い工期の禁止
②WLBを実現する働き方改革に関する施策検討
・工期に関する基準等の周知に加え、先進的取組の普及と方策を検討
（2）生産性の向上
①建設工事現場を適切に管理するための指針の作成
・ICTの活用等による現場管理のための指針を国が作成、特定建設業者に同指針に即した現場管理に努めることを求める
②監理技術者等の専任制度等の合理化

55

第32回 (公社)全国鉄筋工事業協会青年部雇用改善全国連絡会議の報告



日頃は青年部活動へのご理解、ご支援誠にありがとうございます。
またお忙しいところ、岩田会長をはじめ、飯島副会長、熊谷担当理事、山本常任理事、坂本広島県理事長、武田開催地区理事長には、現地でのご出席、重ねてお礼申し上げます。
10月27日に香川県高松市の高松国際ホテルにて、第32回(公社)全国鉄筋工事業協会青年部雇用改善全国連絡会議が、WEB併用で行われ、全国から149名が現地参加、WEB参加が14名と、コロナパンデミックの終焉を映すかのように沢山の青年部会員が参加しました。
今回の会議では、「事業持続」と「青年部持続」という2つのテーマを持って会議を開催いたしました。この会議に参加する中で、危機感を醸成し能動的に考え実行する、次世代の鉄筋事業継承者を生み出すために、「事業持続」をテーマとした2024年問題を皆で乗り切るとともに持続的な雇用をどうやってすべきなのかを能動的に考えるきっかけになるような講演と、全国の新しい試みや工夫を発表する「改善事例発表」の復活によって、考えている会社とそうでない会社の差を感じていただく事にしました。また「青年部持続」のテーマでは、次世代の青年部を担う若い幹事たちのチームによる自分たちが今後取り組むべきテーマの発掘を進めるためのアンケートを行い、新たなテーマとして向かい合う必要があるBIM・CIMについての講演を行なっています。

2024年問題では、実は法を守るための施策が重要ではなく社員からの残業未払い訴訟リスクもある事がわかり、これまで以上に社員と会社の関係性が重要になってくることや、労働基準法に定められた事以上の施策が求められる時代となっていることを知る事ができました。改善事例発表では、関東・北陸・九州の新たな研究や取り組みが紹介され、一般論的にある評価を数値化した取り組みや現場ではとするとするような工夫など、それぞれの会社に帰ったのちにその活用はもとより、他社(他者)と自社(自分)の行動・思考の違いを感じて能動的行動に移していただけるものと考えています。次世代の幹事によるアンケートでは、開催直前にお願した内容で時間不足の中でアンケート内容の精査や実施を行なっていた事に感謝していますし、その実力に未来の青年部の光明を見た気がします。引き続き、これらを行なっていくことで、自分たちは何を考え・行動していくべきなのかを見定めていきます。昨年に引き続き、日建設計 四戸氏からのBIM講演では、より専門工事企業による目線からの内容で、次世代施工管理に必須の技術である事が理解いただけたかと思えます。
総評として2023年の連絡会議を振り返り、今のままでは何も守る事ができず消滅を迎えてしまう厳しい未来の分岐点にあることを会場の皆さんと共有しました。時代の変化に対し、流されるのではなく、自身が考え、行動し、流れに乗るまたは流れを作る必要性が必要だと考えております。これからも更なる鉄筋工事業界の未来を見据え、皆さんと知恵を出し合い、この業界が魅力ある産業、誇りある仕事へ変わっていく事に邁進していきます。
最後に、四国地区青年部の皆様におかれましては、素晴らしい設営をして頂きまして本当にありがとうございます。さらなる鉄筋業界の発展をご祈念いたしまして青年部全国連絡会議の報告とさせていただきます。

各地区広報活動報告

関西鉄筋工業協同組合

2023年11月11日から12日の2日間、大阪南港にあるインテックス大阪にて「みらいのたからばこ2023 in 大阪」へ出展いたしました。

小学生から中学生を対象に、地域に密着した様々な職種のお仕事体験ができるイベントです。

来場者は約17,000人と多くの親子が来場しました。プロに学ぶお仕事体験として、鉄筋ブースにはおよそ1,000人の子供たちが来場し、鉄筋に触れながら、プロの職人たちと触れ合うことができ、体験を通して子供たちの笑顔をたくさん見る事ができました。

一組の親御さんからは帰り際に再度、寄って頂き「このブースが一番良かったです。スタッフさんたちの対応も含め、一番楽しめました。ありがとうございました。」と嬉しいお言葉もいただきました。また、会場出口でも「てっきんってすごいなー」と小学生の子供さんからの声も聞こえ、準備を含めると3日間の疲れも癒されました。

多くの子供たちに「鉄筋屋さん」というお仕事を知ってもらい、また多くの保護者の方々に鉄筋工事を知ってもらう良いきっかけとなりました。今後も、業界のイメージアップとなる広報としての活動を継続してまいります。

みらいのたからばこ

EXPO 2025 大阪・関西万博

みらいのたからばこ

地域密着おしごと体験イベント

2023.11.11・11.12

開催時間：
【11日】10:00～17:00
【12日】10:00～15:00

入場料：無料

会場：インテックス大阪 6号館B



北海道鉄筋業協同組合

・札幌地方職業能力開発協会 「第19回札幌技能フェスティバル」
開催日：8月6日(日) 場所：札幌市産業振興センター
参加者：一般来場者88名
今回は4年ぶりに開催され、猛暑の中、88名が来場されました。鉄筋結束体験コーナーや鉄筋曲げ切りを体験され、小さい子には鉄筋で作ったブランコに乗って楽しんでもらいました。実際に触れることで、ものづくりへの理解を深めることが出来ました。

・札幌商工会議所主催「ミニさっぽろ2023」
開催日：9月30日(土)、10月1日(日)
場所：アクセスサッポロ
参加者：2日間 214名
札幌市内近郊に住む小学校3、4年生を対象とした仮想の街で市民として疑似的な就労・消費生活を体験するイベントに参加しました。鉄筋ブースでは、結束体験・鉄筋曲げ切り体験コーナーを設け、子供たちは慣れない手つきで作業をして、体験で得たお金(こども通貨)でお買い物をして、仕事の大切さを体感してもらいました。



・札幌建協「札幌工業高等学校現場見学会」
開催日：10月27日(金)
場所：山の手小学校改築工事(札幌市西区山の手)
参加者：建築科2年生 78名
工業高校生へ建設業に興味・関心を高めてもらう機会として、建築科78名は建設工事現場を視察後、4グループに分かれて躯体・型枠・左官・鉄筋の4種の体験会を行いました。担当者より仕事の役割や重要性の説明を受けた後、壁・梁・床の結束体験で生徒たちは、慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、より建設業を身近に感じてもらうとともに職人の技術を目の当たりにして、真剣な眼差しで作業に取り組んでいました。

・札幌商工会議所主催「出張型お仕事体験会」
開催日：11月9日(木) 場所：札幌市立光陽中学校
参加者：中学校2年生 117名
市内中学校へ出向いて、中学生や保護者、教員への建設業界の理解促進と工業高校等への進学や就職に繋げることを目的として参加しました。中学生20名程に分かれて、鉄筋工事業の仕事の役割を説明後、壁・床結束体験、鉄筋曲げ切り体験を行いました。生徒は戸惑いながらも体験するごとに上達する嬉しさに笑顔が見え、鉄筋工事業の魅力を感じてもらいました。

令和5年度 顕彰

国土交通省は11月21日、東京都文京区の文京シビックホールで建設マスター（優秀施工者国土交通大臣顕彰）と建設ジュニアマスター（青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰）の2023年度顕彰式典を開き、計580人を優秀な技能者として表彰し、その榮譽をたたえた。建設マスターは、現場経験20年以上で優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成にも貢献した技能者459人が選ばれた。

建設ジュニアマスターは、現場経験10年以上の39歳以下の技能者を対象とし、今後さらなる活躍が期待される青年技能者を顕彰することで、次世代の担い手の確保・育成に役立てることを目的に創設され、121人を建設ジュニアマスターとして顕彰した。

全鉄筋が推薦した建設マスター受賞者は9名、ジュニアマスター受賞者は4名の皆様には、国土交通省大臣顕彰式前に全鉄筋祝賀会を開催し、飯島副会長（教育訓練委員長）よりその功績を称えるご祝辞とお祝い金を贈呈致しました。

顕彰者の皆様、誠にありがとうございました。全鉄筋2023年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」建設マスター顕彰者9名は、以下の通りです。

- ・宮城県鉄筋工事業協同組合 鈴木 真也様（有限会社鈴木鉄筋）
- ・福島県鉄筋業協同組合 五十嵐虎之助様（宇内鉄筋工業株式会社）
- ・埼玉県鉄筋業協同組合 島喰 隆夫様（有限会社田中組）
- ・東京都鉄筋業協同組合 檜澤 昌彦様（大東鉄筋株式会社）
- ・愛知鉄筋業協同組合 林 奈緒子様（株式会社ディビース）
- ・徳島県鉄筋工事業協同組合 岡田 強志様（株式会社松橋組）
- ・宮崎県鉄筋業組合 黒木 一作様（有限会社広渡川鉄建）
- ・佐賀県鉄筋工事業協同組合 福田 信之様（株式会社福田鉄筋工業）
- ・沖縄県鉄筋業協同組合 平良 健治様（合同会社平良産業）

全鉄筋2023年度「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」ジュニアマスター顕彰者4名は、以下の通りです。

- ・東京都鉄筋業協同組合 小林 正人様（有限会社小林興業）
- ・静岡県鉄筋業協同組合 大石 恋次郎様（株式会社大和鉄筋）
- ・広島鉄筋組合 櫛谷 竜也様（福井建設株式会社）
- ・東京都鉄筋業協同組合 齋藤 絵理様（株式会社斎藤鉄筋工業）

全鉄筋令和5年度 青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰



左から齋藤絵理様 小林正人様 大石恋次郎様 櫛谷竜也様 飯島副会長(教育訓練委員長)

令和5年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰



左から 鈴木真也様 檜澤昌彦様 福田信之様 黒木一作様 五十嵐虎之助様 岡田強志様 島喰隆夫様 林奈緒子様 平良健治様 飯島副会長(教育訓練委員長)

全鉄筋外推薦



武藤 憲昭様 (石澤工業(株))



佐々木 清様 (矢島鉄筋工業(株))

ー ご家族からの作文 ー

生き続ける家族の仕事

齋藤 花穂

私のお母さんは、現場で鉄筋工の仕事をしています。私のお父さんと一緒に、お母さんは現場に行く。私たち家族は、7人家族。おばあちゃん、両親、姉弟4人。おじいちゃん、私、お母さんの前に病気で亡くなつてしまったけど、仏壇のおじいちゃん、鉄筋工だったとお母さんがいつも私たちの話してくれる。私の家族はお父さんとお母さんが早く家を出てしまふので、家族全員早起きだ。夜も早く寝てしまふ。お母さんはお父さんより早く帰ってきて、私たちと一緒に過ごすけど、夜私たちが寝た後に明日の現場のことを確認したり、勉強したりしている。お母さんが現場で働いているところをお父さんが携帯電話の動画で見せてくれたけど、男の人ばかりで、道具を持って仕事をしています。お母さんは大丈夫かなと心配して聞いたたら、「楽しいよ。」と言った。

さんが同じ仕事をしてくれてよかったな。お母さんはお父さんの力になリたいな。つて思ってるんだよ。大変な仕事なんだけど、人の命を守れるし、人の役に立つ仕事だからいい仕事なんだよ。」と言った。

おばあちゃんと出かけると、消防署はおじいちゃんとおばあちゃんが鉄筋工で仕事に行つたんだよ。文化会館はおじいちゃんが仕事したんだよ。つて車に乗りながらなつかしい顔をして、話してくれる。もうおじいちゃんはいないけど、おじいちゃんとおばあちゃんがつくつた建物は生き続けて私たちがおじいちゃんの仕事を知ることができる。おじいちゃんの仕事の仲間がお父さんやお母さんに仕事を教えるにきてくれる。

いつかお父さんとお母さんの仕事も私の子どもが見る日があるのかな。鉄筋の仕事は大変な仕事かもしれないけど、ずっとずっと後の未来まで残って、生活する人の命を支えることができるのかいいし、すごいなと思う。



組合紹介 愛媛県鉄筋業協同組合

愛媛県は四国地方の最西部に位置する県です。人口は約130万人で、地域的には東予地方・中予地方・南予地方の三つの地域に分かれ、それぞれの特性があります。東予地方は、造船・製紙工場等の産業が盛んで、中予地方は、自動車部品や電子機器、医療品などの製造業が存在します。また、南予地方では一部地域で風が強く、風力発電が盛んで再生可能エネルギーの供給に貢献しています。

気候は温暖で、特に冬の寒さは比較的穏やかであり、観光スポットも多くあります。道後温泉や松山城などは人気があります。愛媛県は日本有数のみかんの産地であり、特に伊予柑という品種の名産品で、最近では、紅マドンナという品種改良されたブランドみかんもあります。一度ご賞味下さいませ。

組合員数は19社で、後継者問題・若手人材不足など様々な問題・課題を抱えながら連帯感を以て組合活動をしており、特に注力しているのは、専門高校で「ものづくりの楽しさ」を伝える出前講座です。今年が10年目で、県下、東・中・南予、4校で年五回、開催し、毎年20名以上の生徒が3級技能検定試験に挑戦してくれました。その中から数名の入職者がありますが、4週8閉所・給与体制(月給制)・賃金格差などの問題で、皆さん苦慮されています。持続可能な建設業を担っている我々の存続課題としてこれを捉え、業界を挙げて乗り越えていかなければなりません。

過日、国土交通省(中建設・社整備)が進めてきた「持続可能な建設業」の中で、職人の処遇改善・適正な賃金の行き渡りの担保などに於いて、(建専連)岩田会長が職人の未来予想図を描けるために「貫うたら、払え」という、強い覚悟と念いで立てた「錦の御旗」を我々は、そう簡単に降ろす訳にはいきません。片道切符を握りしめて突き進むしかないのです。この千載一遇のチャンスは是非でも掴み取らなければなりません。

我々は、先人から受け継いだ高い技術と目に見えない価値を次世代に繋げていく使命があります。昔の職人は周知りから一目置かれるほど格好良く、給料も高かった、そんな未来予想図を描ける業界にするべく、組合員挙げて邁進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

トピックス

12 : 55

BIM 特集 第1弾

既読1
12 : 20

せんばい!!
最近「これからは BIM の時代だ!」ってよく聞けど、
BIM って何ですか? よくわからないんですけど?

ばいせん

BIM っていうのは「Building Information Modelling」
の略で、**建築物をコンピューター上の 3D 空間で構築**
し、企画・設計・施工・維持管理に関する**情報を一元化**
して活用するシステムのことだよ

12 : 22

既読1
12 : 23

ますますわからなくなりました。3D っていつてま
したが、これまでも 3D-CAD ってあったじゃないです
か。何が違うんですか?

ばいせん

3D-CAD はデザインや設計などの情報を表わすも
のだったけど、多くの 3D-CAD は、まず 2 次元の
図面で設計されたあとに、3D で作成するという流
れだったんだ。でも、BIM は最初から 3D 空間で設
計が行われるんだ。ここで作成された 3D モデルに
は 2 次元の図面の情報も含まれていて、**どこかの情
報を一つ修正すると、すべての情報が連動して修正
される仕組み**になってるんだ。

12 : 27

既読1
12 : 31

なるほど、3D を修正するとすべてが連動するん
ですね。これまでの 3D-CAD だと、2 次元を修正して、
再度 3D 化するという流れでしたもんね。

ばいせん

そうだね。さらに BIM は図面の情報だけではなく、
建具の品番やメーカー、**鉄筋の材質や配筋に関する
情報、施工する時間や資材の価格なども含まれてい
て、それが「情報を一元化して活用する」というこ
とを意味しているんだ。**

12 : 35

既読1
12 : 37

なんとなく理解できました。BIM を活用することで、
3D から時間軸を入れた 4D、さらにはコストを含ん
だ 5D になるってことですね。じゃあ、実際に私たち
鉄筋業界の中でどのように活用されているんですか?

ばいせん

具体的な事例を紹介するね。**千葉県にあるダイニッ
セイ**は、早くから BIM を活用している会社のひとつ
なんだ。BIM は 3D で表現されるので、設計の段階
で関係者にビジュアル的に理解を示してもらうこと
が容易になるツールでもある。
だから、「**フロントローディング**」っていうんだけど、
設計初期の段階に負荷をかけ、作業を前倒して進め
ることで、鉄筋の納まりの検討などのシミュレーショ
ンや検証、提案ができ、問題点の改善を図ることが
できるんだ。それをいち早く取り入れている会社な
んだ。

12 : 41

既読1
12 : 45

右図の通り、**前倒して検証や提案ができれば、変更
も容易だし、変更コストも少なくて済む、そこに着
目しているんですね。設計変更や施工計画や作業手
順の提案を前倒しでできれば、僕らにとってもいい
ですしね。**

変更容易性

変更コスト

コスト/リソース

調査 企画設計 基本設計 実施設計 調査 施工 管理

プロジェクトの進捗

従来の設計プロセス

理想的な設計プロセス

シミュレーション資料
&
会議の様子

既読1
12 : 47

なんとなく BIM ってものがどんなものか? わかって
もらえたかな。最後に簡単に復習してみよう。
BIM は
①**建築物をコンピューター上の 3D 空間で構築して、
企画、設計、施工、維持管理までのあらゆる工程
での情報を一元化して活用するシステムのこと**
②**時間軸、コストを加えた 5D での管理も可能**
③**前倒した検証や提案をすることで、設計・管理・
施工三方良しが実現できる**
まだまだ、BIM について語りつくせてないから、
また次回話そうね。

12 : 48

既読1
12 : 51

先輩、忙しい中ありがとうございました

全国女性技能者懇談会 開催について

懇談会：つながろう女性鉄筋工の和
日 時：令和6年2月16日(金) 15:30~
集 合：万国橋会議センター 403号室 会議室
住 所：〒540-0034 神奈川県横浜市中区海岸通4-23

委員長
岑 直樹(宮城)

副委員長
宮本ゆり子(山口)

木浪 裕子(北海道)

皆川 則子(北海道)

松本 茂(東鉄協)

斎藤 淑江(東鉄協)

工藤 桂一(神奈川)

駒井 真里(神奈川)

松本 勝(静岡)

田浦 真一(関西)

南里 未都(関西)

赤澤 栄徳(香川)

編集委員

編集後記

建設業界のDXが急速に進む中、新たな展望が開けつつあります。その中で注目されるのが、建設プロジェクトにおける情報共有と効率向上を可能にするツールとして登場したANDPADです。ANDPADは、モバイルアプリケーションとして、建設関係者がリアルタイムでデータを共有し、プロジェクトの進捗管理やコミュニケーションを円滑に行うことができます。プロジェクト参加者間での情報共有が促進され、建設プロセス全体の効率が向上します。

一方、建設DXにおいて、専門業者がどのような役割を果たすかが焦点となっています。専門業者は、建設プロジェクトにおいて独自の専門知識とスキルを提供する存在であり、これまでに培われた技能や経験、洞察力を駆使してプロジェクトを支えてきました。しかし、デジタル技術の進化に伴い、これらの専門業者が取り残されるリスクが浮上しています。

取り残される専門業者とは、デジタルツールやデータ解析の導入に適応できない、またはこれらのテクノロジーを活用するスキルが不足している業者のことを指します。例えば、新しいプロジェクト管理ツールやBIMなどが導入され、これに対応できない業者は競争力を失いかねません。取り残されないためには、専門業者もデジタルスキルの向上や新しいテクノロジーの積極的な導入が求められています。

また、適切にデジタルツールを活用し、データ駆動の意思決定を行う専門業者は、逆に新しい機会をつかむことができます。建設DXには、進化する市場に柔軟かつ効果的に対応できる専門家の存在が不可欠であり、これが成功につながる一要因となっています。建設DXは、技術と専門知識の統合を通じて、業界の未来を切り拓く可能性を秘めています。技能と引き換えに更なるデジタルデバイスが生じないことを願うばかりです。

赤澤栄徳